

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和3年度 第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再生可能エネルギーを活用した豪雪・過疎地域振興事業 ～丹生ダム建設事業の中止に伴う地域振興をモデルとして～ (令和元年度からの継続)	
補助事業者名	滋賀県	
補助事業の概要	地中熱道路融雪施設を導入するための整備工事	
総事業費	124, 102, 320 円	
補助金充当額	124, 102, 320 円	
定量的目標	(最終的な目標) 2028 年 ・ 丹生地域への観光入込客数 10000 人/年 ・ 観光事業等に伴う雇用の創出 10 人 ・ 人口流出の抑制 (人口減少率の低下) (短期の成果目標) ・ 地中熱融雪効果による丹生地域における安全・安心の確保 (幹線道路の安全性向上) ・ 地中熱融雪効果による移動時間の短縮 (緊急搬送・避難路の確保) ・ 地中熱融雪効果による道路維持の負荷軽減と管理費の縮減 (再生可能エネルギー活用による維持管理コスト削減) ・ 再生可能エネルギーの有効性の地域住民への浸透 ・ 再生可能エネルギーの他事業への展開の促進	
補助事業の成果及び評価 (事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)	豪雪による生活不便を抱える地域において、交通アクセス性の確保は大きな課題であり、令和元年度、令和2年度に実施した地域の基幹道路への地中熱道路融雪施設の導入に向けた詳細設計等の結果に基づき、令和3年度は施設の整備工事を実施した。 本施設の本格稼働は今冬からとなるが、その間も、設置したPR看板を通じて、地域住民等に再生可能エネルギーの効果を発信している。施設稼働後は、道路の安全・安心の確保、道路維持管理費の縮減を図り、再生可能エネルギーの効果を更に地域に発信するとともに、丹生地域における地域振興策への展開につなげる。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ: 間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	地中熱道路融雪施設整備工事
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方(間接補助先)	株式会社湖東工業所
	契約金額(間接補助金額)	124, 093, 200 円

来年度以降の事業見通し	
-------------	--

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。